

作成日: 1998年6月26日

改訂日(V.10ABC): 2023年8月7日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: マイリノー

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名: 日本農薬株式会社

住所: 〒104-8386 東京都中央区京橋 1丁目19番8号 京橋OMビル

担当部門: 環境安全・品質保証部

TEL. 050-3490-3494

e-mail: kankyouanzen@nichino.co.jp

緊急連絡電話番号:(平日) 050-3490-3494 (環境安全・品質保証部)

(休日、夜間) 04-2929-8961 (ALSOK)

推奨用途及び使用上の制限: 農薬用展着剤、農薬登録の範囲外の使用は不可

SDS番号: 531-06(M179)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分3
健康有害性	生殖毒性	区分1B
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)
		区分3(麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(中枢神経系、視覚器)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分2
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分3

上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
臓器(中枢神経系、視覚器、全身毒性)の障害
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(中枢神経系、視覚器)の障害
水生生物に毒性
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

- 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
- 静電気放電に対する予防措置を講じること。

- 容器を密閉しておくこと。
- 容器を接地しアースをとること。
- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- 取扱い後は手をよく洗うこと。
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 必要なとき以外は環境への放出を避けること。

【応急措置】

- 火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。
- 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察を受けること。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 気分が悪いときは医師の診察を受けること。

【保管】

- 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。容器を密閉しておくこと。
- 施錠して保管すること。

【廃棄】

- 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事等の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に業務委託して適切に処理する。

他の危険有害性：空気との混合により、爆発性混合気体を生成するおそれがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分： 混合物

化学名又は一般名：

有効成分

ポリアルキレングリコールアルキルエーテル

成分及び含有量：

成分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
ポリアルキレングリコールアルキルエーテル	27.0%	—	—	—
〈その他〉				
メタノール	40.0%	67-56-1	既存物質	(2)-201
ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン	1.6%	40766-31-2	既存物質	(4)-38
水、消泡剤	残	—	—	—

4. 応急措置

吸入した場合： 被災者を速やかに空気の新鮮な場所に移す。異常が現れた場合には、直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合： 汚染された着衣、靴等を速やかに脱がせ、付着部を多量の水と石鹼でよく洗浄する。異常が現れた場合には、医師の診断を受ける。

眼に入った場合： 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄する。眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗う。医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：口の中をすすぎ、直ちに医師の診療を受ける。意識がないときには口から何も与えてはならない。無理に吐かせてはならない。医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火時の注意： 消火活動には適切な保護具(自給式空気呼吸器等)を着用し、風上から作業する。高温により発生するガス、煙を吸い込まないように注意する。火災の熱で容器が爆発することがある。散水して容器を冷却する。消火水が下水や河川等の水系に流れ込まないように適切な処置をとる。

適切な消火剤： 粉末、泡沫、炭酸ガス、水
使ってはならない消火剤： 情報無し。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

付近の人を風上に避難させ、漏出現場への立ち入りを禁止する。付近の着火源となるものを取り除く。適切な保護具(保護衣、保護眼鏡、保護マスク等)を着用して、眼や皮膚に触れたり、液滴やガスを吸い込まないようにする。

環境に対する注意事項：

漏出物や洗浄水等が河川、下水等に流出し、環境へ影響を与えないように措置する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

漏出物を土、砂等に吸収させ、密封できる容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い： 局所排気装置を設置し、換気のよい場所で行う。着火源となるものの付近では取扱いをしてはならない。適切な保護具を着用し、ガスやミストを吸い込んだり、眼、皮膚に触れたりしないようにする。作業後は、すみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。

保管： 換気のよい冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かない危険物倉庫に施錠して保管する(火気厳禁)。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 局所排気装置を設ける。取扱い作業場の近くに洗眼、洗面、うがい、安全シャワー設備を設置する。

保護具： 状況に応じた適切な保護具を着用する。
保護マスク、保護眼鏡、保護衣(長袖・長ズボン)、ゴム手袋
作業時に使用していた衣類等は他のものと分けて洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

外観：
物理状態： 粘稠液体
色： 微黄色
臭い： データ無し。
融点/凝固点： データ無し。
沸点又は初留点及び沸点範囲：
データ無し。
可燃性： データ無し。

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：

データ無し。

引火点： 26.3℃

自然発火点： 常温で空気と接触しても自然発火しない。

分解温度： データ無し。

pH： 4.5~6.5

動粘性率： データ無し。

溶解度： データ無し。

n-オクタノール/水分配係数：
データ無し。

蒸気圧： データ無し。

密度及び/又は相対密度：
0.92

相対ガス密度： データ無し。

粒子特性： データ無し。

10. 安定性及び反応性

反応性： データ無し。

化学的安定性： 通常の取扱い条件下では安定。

危険有害反応可能性：

空気との混合により、爆発性混合気体を生成するおそれがある。

避けるべき条件： データ無し。

混触危険物： データ無し。

危険有害な生成分解物： 燃焼すると有害なガス(CO等)が発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)： ラット LD₅₀ 値 (mg/kg) ♂ 8398 ♀ 4588

急性毒性(経皮)： ラット LD₅₀ 値 (mg/kg) ♂, ♀ >2000 (死亡例及び中毒症状無し)

急性毒性(吸入：蒸気)： 混合物に 1%以上含まれる成分で毒性情報のあるものは、全て区分外に分類されることから区分外とした。毒性未知成分量は 32.2%。

皮膚腐食性/刺激性：

ウサギ 刺激性無し。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：

ウサギ 刺激性無し。

呼吸器感作性： 製剤のデータ無し。

皮膚感作性： モルモット 陰性

生殖細胞変異原性：

製剤のデータ無し。

発がん性： 製剤のデータ無し。

生殖毒性： 区分1Bに分類されるメタノールを濃度限界である 0.3%以上含有することから区分1Bとした。毒性未知成分量は 32.2%。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：

区分1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)に分類されるメタノールを濃度限界である 10%以上含有し、また区分3(麻酔作用)に分類される同成分を濃度限界である 20%以上含有することから区分1(中枢神経系、視覚器、全身毒性)、区分3(麻酔作用)とした。毒性未知成分量は 30.2%。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：

区分1(中枢神経系、視覚器)に分類されるメタノールを濃度限界である 10%以上含有することから区分1(中枢神経系、視覚器)とした。毒性未知成分量は 30.2%。

誤えん有害性： 製剤のデータ無し。

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性) :

コイ、緑藻の毒性データにより区分2とした。

水生環境有害性 長期(慢性) :

慢性区分に分類される成分含量及びその毒性値から推定し、区分3とした。毒性未知成分量は30.2%。

生態毒性 :

コイ LC₅₀ 値/96h 3.0 mg/L

オオミジンコ EC₅₀ 値/48h 19.7 mg/L

緑藻* ErC₅₀ 値/24-72h 4.9 mg/L

(**Selenastrum capricornutum*)

残留性・分解性 : 製剤のデータ無し。

生体蓄積性 : 製剤のデータ無し。

土壌中への移動性 : 製剤のデータ無し。

オゾン層への有害性 : 製剤のデータ無し。

1 3. 廃棄上の注意

法、条例等に従って安全に処理する。または産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

空容器 : 内容物を使いきった後、3回以上洗浄し適切に処理する。洗浄液は河川、下水等水系に流さないようにする。

1 4. 輸送上の注意

容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。

国連番号 : 1993

品名(国連輸送名) : FLAMMABLE LIQUID, N.O.S. (methanol mixture)

国連分類 : 3

容器等級 : III

海洋汚染物質 : 非該当

緊急時応急措置指針番号 : 128

1 5. 適用法令

農薬取締法

毒物及び劇物取締法 : 毒物及び劇物に該当せず(劇物のメタノールを含むが混合物であり該当しない)。

消防法(危険物/第四類第二石油類、非水溶性)

危規則

労働安全衛生法

有機則

表示対象物(法57条、施行令第18条) : メタノール(政令番号560)

通知対象物(法57条の2、施行令第18条の2) : メタノール(政令番号560)

化学物質排出把握管理促進法(化管法)

指定化学物質 : ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン(第一種・管理番号653)

1 6. その他の情報

参考文献

1) JIS Z 7252 : 2019、GHSに基づく化学物質等の分類方法

2) JIS Z 7253 : 2019、GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

本データシートの記載内容は、この化学品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。